

光友会ホームページのセキュリティについて

2022年8月9日
ホームページ委員会

光友会ホームページは、「オープンアクセスエリア」と会員しか入れない「会員専用エリア」に分けられています。

大部分の閲覧頁は会員の皆さんに自由に投稿していただくため、「会員専用エリア」に所属しています。会員の個人情報（写真や氏名、メールアドレスなど）が含まれているため、これをフリーに一般公開してしまうと、悪意を持った第三者に抜き取られてしまうため鍵のかかった「会員専用エリア」に掲載しているという訳です。

会員の皆さんから投稿されたこれらの記事は、「会員専用エリア」に設置したいくつかの掲示板に保管されています。ホームページ委員会では「オープンアクセスエリア」に記事を転載したり、お知らせ欄に記事を投稿していますが、運用規定により掲載内容のチェックを実施して、会員以外の第三者が閲覧しても支障がないように配慮しています。

当会のセキュリティ確保について下記します。

- (1) ホームページの入口を狭めて、見つかりにくくしています。
- (2) 指名手配の看板を掲げ、けして屈強とは言えませんが門番がひとり立って見張っています。指名手配のロボットがやってくると追い払います。
- (3) オープンエリアに設置したプログラムの多くは「検索ロボット」や悪意のある「スパイロボット」を回避する仕掛けを付加しています。
- (4) 世の善良とされている「グーグル」、「ヤフー」、「マイクロソフト」、「アップル」、「フェイスブック」、「ツイッター」等のロボットは、当会ホームページのオープンエリア内には自由に入れるよう許可しています。
- (5) しかしながら、いかなるロボットや会員以外の一般人は「鍵」を持っておらず、「会員専用エリア」には入れません。会員の皆さまだけ「鍵(ユーザーID)」をお渡ししました。
- (6) 当会ホームページ内に、セキュリティ監視の「Site Lock ロボ」を巡回させています。彼らには合鍵を渡してあり、「会員専用エリア」にも入って不正がないか、ウィルスはいないかと毎日監視しています。

その一方で、ブラウザのサイト情報で「このサイトは安全ではありません」と表記されてしまいますが、今後は更なるセキュリティ強化策としてSSL暗号化通信システムの導入を検討しており、コストとの見合いになりますが積極的に採用すべく考慮しています。

以 上



光友会ホームページの入口想像図（1）

門番を蹴散らして入ってくる指名手配中のロボットが3台あります。「Google」や「MS Bing」、「Apple」等の検索ロボットは、オープンエリアに許可しています。



光友会ホームページの入口想像図（2）

中国の百度（Baidu）は指名手配で排除しているのに、門番の目を盗んでコソコソと入ってきます。ファイヤーウォールに穴を開けようとする悪意のロボットもいます。2018年11月に開けられてしまいました。